

皆様こんにちは！いかがお過ごしでしょうか？



私は8月19日に5か月ぶりで東京からNYに戻りました。

3月下旬に一時期国をしましたが、これほど長期になるとは思わず皆様に大変ご心配、ご迷惑をおかけいたしました。

未曾有のコロナ感染パンデミックでこれまでに多くの方が命を落とされました。

お亡くなりになられた方々へ心よりのご冥福をお祈り申し上げますとともに、現在入院加療中の皆様が一日も早く回復されますことを祈念いたします。

あわせて長きにわたりご尽力下さっている医療関係の皆様、そして私たちの毎日の生活を休むこともなく支えて下さるエッセンシャルワーカーの皆様に感謝申し上げます。たく思います。

9月に入り今月は10日に脇祖さま報恩会、11日には同時多発テロ慰霊祭、下旬にはお彼岸の行事を迎えさせていただきますが、心静かに慰霊供養申し上げ感謝と、これからの精進をお誓いしたく思います。

現在私たちは「コロナ感染症」に直面しています。私たちの歴史を振り返りますとこれまで人類は幾多の感染症に見舞われ、その都度歴史が大きく変化してきたことに気付かされます。

古代ギリシャ文明、ローマ帝国の衰退も感染症の猛威が一因となり、中世では黒死病といわれる「ペスト」の大流行により封建制度の解体、ルネッサンス、宗教革命の起因ともなりました。しかもそのペストはユーラシア大陸を制覇したモンゴル帝国の東西交通網によりアジアで発生しそれがインド、ヨーロッパに拡大したという事です。

南北アメリカ大陸では、ヨーロッパから天然痘、その他の感染症がもたらされ、免疫のなかった先住民の多くが命を奪われました。

20世紀に入り「スペイン風邪」が大流行し猛威を振るい世界で4000万人以上が死亡し、それを通じ国家間の経済・国力の格差が大きく拡大しました。

現在進行中の「コロナ感染」はグローバル化の波に乗り瞬く間に世界的パンデミックに及んでいます。しかもこの感染に各国が協調して対処するどころか閉鎖性が進み、各国の経済は落ち込み人々は困窮状態です。その対応もまちまちで

強権発動し全体主義化が進むケース、民主主義を堅持しようとするケースなど  
ポストコロナの社会の変化が見えてきます。

現実世界を見ますとアメリカ国内では、11月の大統領選挙戦、各地で起きている人種差別に対する反対運動、多発する巨大ハリケーンによる被害など課題に挙枚の暇はなく、日本国内においても安倍首相の健康状態悪化による突然の辞任など将来へのさまざまな不安はつきません。

こうした状況を前にして今後私たちの社会では「人間の生き方」、「本当の幸せとはなにか」、といった人間の内面を深く見つめようとする関心がさらに高まるという研究者もいます。これまで、経済最優先、利潤追求のみの考え方からこれまで軽視されてきた哲学や宗教に対する関心が高まるだろうとも述べています。

この時こそ、そうした数々の変化に振り回されることなく、私たちは仏教に示された教えを基に一人一人の信仰を深め、迷うことなく菩薩道を歩んでゆきたく思います。

今月も足元の実践を大切に、ともども精進をさせていただきます。

合掌

RKNY 畠山友利

